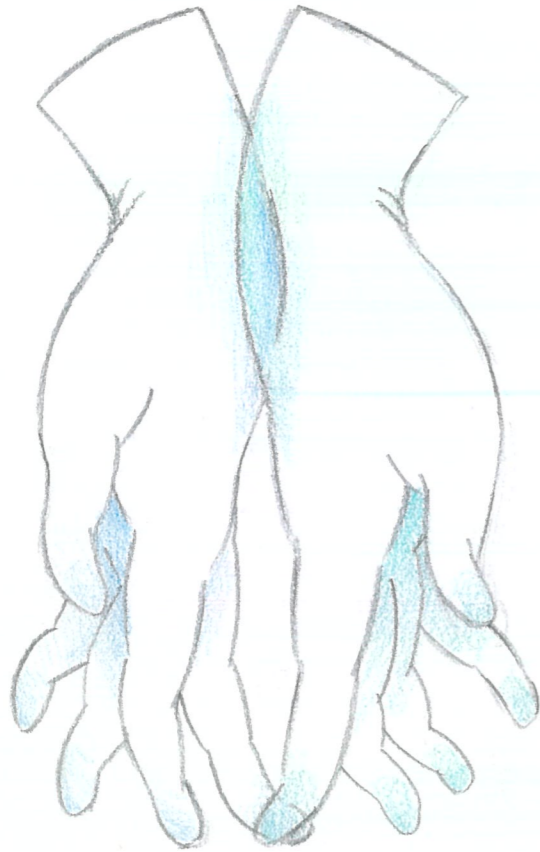


作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

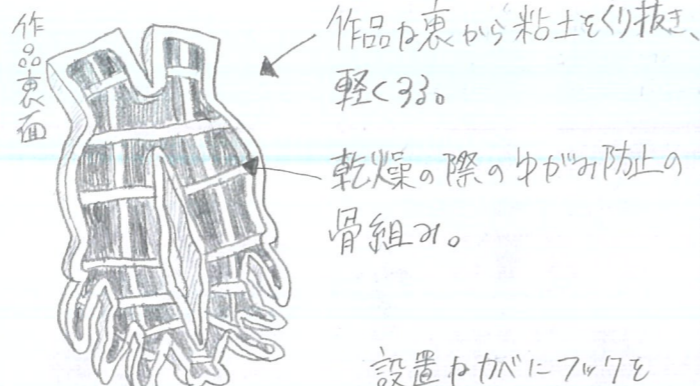
台座置き  壁付

\*台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること  
\*台座のサイズは自由

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



800×600×170 程の壁掛けレリーフ。  
作品の着色は土そのものの質感を生かす為、  
粗葉のツヤの出ないものを使用。

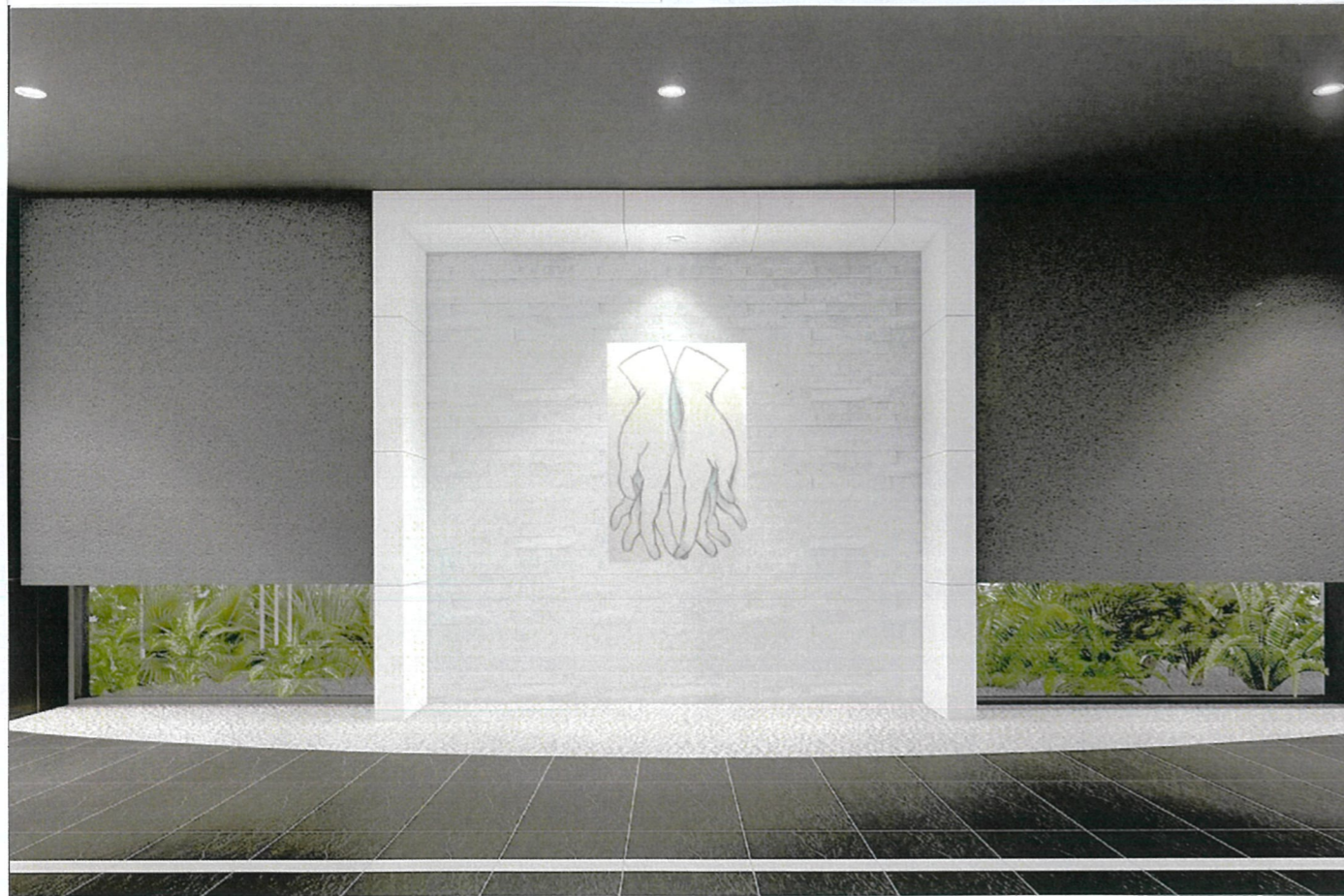


作品の裏から粘土をくり抜く。  
軽くする。  
乾燥の際のゆがみ防止の骨組み。



設置用カバにフックを取り付け、作品裏にひっかけ部分も何箇所か作り、掛ける。

←重なり部分の色が混ざり合っている。



作品名	歩幅が合うとき	作品NO.	36
素材	陶土	想定重量	30 kg
作品サイズ	横幅 600 × 高さ 800 × 奥行 170 (単位:mm)		

作品コンセプト

マンションのエントランスホールでは毎日人が行き来し、挨拶や軽い世間話などのコミュニケーションが行なわれる。SNSなどの普及や近年のコロナの流行により、直接的なコミュニケーションの機会が少なくなってしまった今、特に公共の空間やそこでの交流の時間はかけがえなく、大切にしていってほしいものだと感じる。

この作品は公共スペースでの人同士の関わり合いをテーマとし、2つの手が触れ合う様子と、人々の行き交う様子を重ね合わせたデザインにしている。

エントランスホールのデザインは直線的で、白と黒を基調とした色合いのため、あえて曲線的な構造や柔らかさを全面的に出した形と色味で空間と作品とのコントラストをつけた。

素材に選んだ土は古くから人にとって馴染み深く、特徴的な温かみのあるマットの質感により、そこに住む方やマンションを訪れた方の心の安らぎに繋がるのではないかと考えている。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

①

②

- 全ての作品は陶土で制作。
- ①～③は200×200(mm)に4対1の小さなレリーフ作品。
- ④は450×600×300(mm)の立体作品。

③

④